

# 2016年度 事業報告

社会福祉法人 新瑞福社会

2016年度、法人は下記の社会福祉事業を進めて来ました。公益事業及び収益事業に該当する事業はありません。

## 1. 新瑞福社会の目標

「女性の働く権利」と「子どものゆたかな発達」を保障する保育園づくりのスローガンのもとに

(1)多様な保育要求にこたえる保育園をつくります。

産休明け、乳児、長時間・延長、障害児、途中入所、一時保育、日祝保育、アレルギー食などの多様な保育要求にこたえます。

(2)保護者とともによりよい保育内容をつくります。

(3)地域の保育センターの役割を果たし、子育て支援をすすめます。

(4)健康で生き生きと働き、学び高まりあう職員集団をめざします。

## 2. 法人本部及び施設の事業について

### (1)法人本部

- ・理事会、評議員会の開催（予算・決算、事業計画、事業報告等）。
- ・社会福祉法改正に伴い定款変更。評議員選任・解任委員会の設置等について。
- ・民間移管に伴い、とうえい保育園の園舎建設と保育の引継等について。
- ・児童デイサービス事業の多機能型事業所への移行について。
- ・職員の処遇改善、就業規則・育児介護休業規程等の改定。
- ・各施設の運営状況、施設整備・備品購入について。
- ・職員体制、職員採用について。
- ・学童保育所「運営委員会」の開催。各園運営委員会への参加。

### (2)とうえい保育園の開設について

- ・園名・所在地

とうえい保育園 名古屋市瑞穂区東栄町 2-1-1 電話：052-853-1081

- ・定員・クラス名

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
8名+予約6名	14名	18名	20名	30名	30名	120名
りんご	ばなな	もも	すいか	ぶどう	くり	

- ・特別保育事業

産休育休明け途中入所予約事業、延長保育（1時間）、障害児保育

- ・園舎建設と施設概要

2017年3月15日に園舎完成。敷地面積：968.00㎡（名古屋市からの借地）。園舎の延べ床面積：1191.5㎡。園舎の構造：鉄骨3階建て。1階幼児室、給食室、事務室、2階乳児室、ホール、3階会議室、職員休憩室、屋上園庭。

- ・保育の引継と職員体制

2016年4月から5人の先行職員が東栄保育園で勤務して保育の引継を開始。とうえい保育園の職員体制は正規職員20名（園長1名、保育士16名、栄養士2名、看護師1名）、臨職約20名。

・移管後の保育体制、行事、諸費用負担、送迎時の事などは四者協議会で取り決めて来ました。

### (3) たんぽぽ保育園

・産休明けから就学前まで定員80名。3～5歳児の異年齢保育を基本に、0歳児からの保育の交流を行ってきました。年間利用者数1,081名。

・延長保育7時～24時まで。産休・育休明け途中入所予約事業、障害児保育、一時保育事業（年間利用者数2,215名）、24時間緊急一時保育事業（年間利用者数832名）、アレルギー食を実施。

・一時保育室の改修、2歳児室トイレの改修を行いました。

### (4) こすもす保育園

・産休明けから就学前まで定員100名。年間利用者数1,312名

・延長保育7時～20時まで、産休・育休明け途中入所予約事業、障害児保育、日祝日保育事業（年間利用者数491名）、地域子育て支援センター事業、アレルギー食を実施。

・4歳児クラス室、5歳児クラス室、1階トイレの改修を行いました。

### (5) さざんか保育園

・産休明けから3歳児まで定員40名。年間利用者数484名

・延長保育7時～19時半まで、産休・育休明け途中入所予約事業、障害児保育、アレルギー食を実施。

・給食室のエアコン更新と床の張替工事、外階段の塗装工事、防犯カメラを設置。

### (6) ななくさ保育園

・産休明けから就学前まで定員60名。年間利用者数738名

・2015年4月、名古屋市の待機児対策である「貸貸保育園」として中根学区に開園しました。1歳から5歳が一緒に生活する異年齢保育を実施しています。

### (7) あさがお学童保育所・第2あさがお学童保育所（留守家庭児童育成会事業の実施）

井戸田小、豊岡小、菊住小の約60名の児童を、2つの学童保育所で受け入れてきました。

年間利用者数、あさがお学童保育所377名、第2あさがお学童保育所378名

### (8) 児童発達支援たんぽぽ・放課後等デイサービスあさがお

障害児通所支援事業の児童発達支援（デイたんぽぽ）と放課後等デイサービス（デイあさがお）の事業を一体化しました。たんぽぽ保育園及びあさがお学童保育所の児童との交流を日常的にすすめてきました。年間利用者数、児童発達支援たんぽぽ79名、放課後等デイサービスあさがお204名。

### (9) 相談支援事業あさがお

・障害児相談支援事業は、障害のある児童本人およびその家族と相談をして、子どもの発達保障をめざして、サービス利用計画の作成を行いました。年間利用者数は延べ115名。

・学校との懇談、関係事業所との担当者会、ケース会議など開催・参加して、関係者をつなげ、子どもと家族の願いにそった支援を実施してきました。

## 3. 職員の状況と施設運営について

・正規職員は法人全体で76名、非正規職員は約130名。2016年度の産休取得者は2名、育休取得者2名、育休短時間勤務1名。

・子どもたちの健やかな発達をめざし、保護者や地域とも連携しながら日々の保育を行ってきました。

- ・ヒヤリハットの取組、安全対策会議の開催、安全教育等、事故防止対策と安全意識の向上に努めてきました。
- ・各施設で、毎月1回の火災避難訓練、地震を想定した訓練を実施してきました。
- ・実践検討会、新人研修、中堅研修、ベテラン研修、実技研修等を行って来ました。合研、保問研、愛保協研修、あいち保共連研修など外部研修に多くの職員が参加してきました。
- ・職員面談、特殊検診の実施、労働安全衛生委員会の開催、産業医からの助言や指導を受け、職員の健康管理に努めて来ました。
- ・名古屋市保育園連盟、全国民間保育園経営研究懇話会、愛知保育団体連絡協議会、あいち保育共同連合会、愛知県民間社会福祉施設経営管理者会議、瑞穂区保育団体連絡会など、諸団体と連携して来ました
- ・瑞穂区子育て支援連絡会に参加し、瑞穂区子育てネットワーク「さくらっこ」、子育てサロン「さくらひろば」、「赤ちゃん広場」に職員を派遣。
- ・各園で、子育て支援室開放・お庭であそぼう・赤ちゃんひろば・プールで遊ぼう・クリスマス会などの地域開放事業を行って来ました。
- ・法人ホームページで、事業内容、子育て支援事業の状況、財務状況、現況報告、定款などを公開。各園で地域新聞（年間3回）を発行しました。
- ・苦情の状況について  
苦情受付、第三者委員会を設置。2016年度、苦情処理規程に基づき苦情受付はありませんでした。